

地域の皆様と共に永く住み続けられる街づくりを進める
「ちどり福祉会」の最新情報



社会福祉法人
ちどり福祉会広報部

福岡市東区八田 1-4-15

TEL: 092-691-5089

<http://www.chidorifukushi.jp>

いきいき

春号

2019年 4月発行

題字 いきいき八田デイサービス利用者様

いきいき

社会福祉法人ちどり福祉会広報誌

いきいきプレス

2019年

春号

発行元／社会福祉法人ちどり福祉会広報委員会
福岡市東区八田 1-4-15 ☎092-691-5089

VOL.45



八田特養で
デザートバイキングを
行いました

撮影／八田特養介護職員 首藤講佳

元気で 彩りのある生活を

いきいき八田介護課長 井上 敬士

ちどり福祉会いきいき八田は、2003年に開設し16回目の春を迎えます。冬季は全国でインフルエンザが猛威を振るい、いきいき八田ではご利用者様の健康管理や感染症予防に取り組んで参りました。

季節は移り、過ごしやすい『春』の到来です。施設では冬に控えていた施設全体行事やバスハイイク外出など、ご利用者様が元気で彩りのある生活が送れますよう、様々な計画を立てて実践して参りたいと思います。

ご利用者様、ご家族様、職員、地域の方々が健康で笑顔あふれる1年となりますよう努めて参りますのでよろしくお申し込み申し上げます。



ボランティア紹介

「ありがとう」の言葉に励まされて
きまぐれ喫茶 川東 洋子

私が初めて施設に来たのはボランティアとしてではなく家族として、でした。今は亡き母がいきいき八田特養に入所して面会に来た時にカフェを開設できる設備があることに気づきました。私はもともとコーヒーが好きで入所されているかたや来訪された方に安価なコーヒーを提供できたら…と施設に相談したところ快諾を頂き友人を誘い活動をスタートしました。それから音楽メンバーが増え毎月ミニコンサートを開くようになり、そしていきいき箱崎でも活動するようになりました。

いつも利用者様一人一人の笑顔、「ありがとう」の言葉に励まされています。利用者様の安全を第一に楽しく過ごしてもらえるよう心配りをしながら仲間たちとこれからもがんばって活動を続けたいと思っています。

喫茶メンバー▶12名、音楽メンバー▶3名
八田…毎週月・水・金 午後から
ミニコンサートは八田で毎月第3水曜日
箱崎…水曜日(第3以外) 午後から



コーヒー1杯50円です



ボランティアの方々とのおしゃべりも利用者様の楽しみです



ホットもアイスもあります



毎月サクソフォンの生演奏
ありがとうございます



ピアノとギターの素晴らしい演奏と歌をありがとうございます

出張カフェ in 蒲田会館 ~出会いとつながり~

毎月定期開催している「しろうおカフェおれんじ」の出張版として福岡市東区蒲田にある蒲田会館へ行ってきました。57名の方々に参加して頂き、とても楽しい雰囲気でお話されていました。

参加者の方々は友達同士で誘い合ってきたという方や、このカフェがご友人との久しぶりの再会だったという方もおられました。また、ある参加者の方は「自分は転勤族だったから地元の人との交流がなかった、今日はこのような場があってよかった。」と言っておられました。

そして、東区の広陵校区社会福祉協議会の副会長を務めておられる田中さんによるトランペット演奏では懐かしい曲に皆さん口ずさんでおられました。このようなカフェを通じて新しい出会いや人とのつながりのお手伝いできればと思います。

八田特養生活相談員 森永理紗



◀たたらハ病院
光安医師による
認知症講話



当日は予想を上回る参加者でした



◀田中さんの素晴らしい演奏と
軽快なトークに魅了されました

「子どもの貧困について考える」地域学習会を開催

子どもの貧困とは何か



筑紫女学園大学 大西先生

子ども食堂



菅野 和美氏

学校現場から報告



永瀬スクールソーシャルワーカー

2月9日、たたら地域ふくしネット主催で学習会を開催しました。近隣5校区の民生委員など68人が参加しました。筑紫女学園大学の太西先生から「社会問題としての子どもの貧困」の講演、舞松原校区の舞myキッチン(子ども食堂)とスクールソーシャルワーカーの実践報告がありました。子どもの7人に1人が相対的貧困状態であり、その背景にはひとり親世帯、特に女性の雇用や賃金問題があること、「お金がない」ことが「チャンスやつながりの喪失」「自己肯定感の低さ」を招くことを学びました。「パラパラ大豆」のように孤立した社会ではなく、「ネバネバ納豆」のようにつながり支え合う社会にしていくことが肝要であることを実感しました。

いきいき八田統括部長 川添大介



当日は地域活動に従事する方や児童福祉関係の方も参加されました

しろうおカフェ in 多々良公民館

福岡市東区の医療・介護事業所で結成した「ひがしかぜの会」が主催し毎月第4土曜日に多々良公民館で開催している認知症カフェです。カフェタイムはもちろんミニ講話やミュージックタイムがあり、地域の方や地域ではない方にも参加して頂いています。

1月26日



東区小規模劇団轍(わだち)さんが認知症劇を披露して下さいました。(主演はのどか職員の横尾恭子です)



◀午後2時開店!
コーヒー・紅茶・お茶など無料です

会場内には認知症に関する資料を用意しています▶

ひがしかぜの会参加事業所

東区社会福祉協議会さん/グループホームニチイのほほえみ土井さん/木の実介護センターさん/ケアプランあかりさん/老人保健施設ローズガーデンMKさん/特別養護老人ホーム光薫寺ビハーラさん/特別養護老人ホームなごみの里さん/特別養護老人ホーム つくしの里さん/宮崎内科クリニックさん/ケアプランセンター福岡東さん/ばん歯科さん/たたらハハビリテーション病院さん/東第6いきいきセンターさん

いきいき八田家族会様

~今年もありがとうございました~

今年も特養いきいき八田家族会の皆さんからボランティアの方へはもちろん、職員全員にバレンタインのお菓子を頂きました。ありがとうございました。



いつでも楽道家

いきいき八田ショートステイ 利用者 寺田 米子

私は箱崎生まれの89才です。女学校を出て兄の勧めで会社の事務員をする事になり、その会社で主人と出会いました。主人は自己中心的なところもありましたがとても正義感の強い人でした。結婚のきっかけは主人が私に相談無く私の母に「結婚を前提におつきあいさせて下さい。」と挨拶へ行ったことでした。私は結婚したいだなんて思っていなかったのに。母はとても喜んで結婚することになりました。だけど、主人の家族に色々な事があり仮祝言を挙げたあと

もなかなか結婚できませんでした。その頃私は何故か不安になる事はなく「なんとかなる。」とのんびり構えていました。

何とか結婚して子ども2人に恵まれました。私の人生で一番幸せだったことは子ども2人を産んだことです。しかし、まだ幼い子ども2人と私を残して主人は若くして

他界しました。主人の死は私の人生で一番悲しかったことです。これからどうしよう、どうやって生活して行こうと不安でいっぱいでした。勤め先を色々探しましたが見つかりませんでしたので主人が残してくれた資産をかき集め学生向けの下宿をすることになり、そこからなんとか生活できるようになりました。

60歳を過ぎて目が悪くなり物が見え辛くなりました。そして手足が思うように動かなくなり、入院して脳梗塞と診断を受けました。悲しみはありませんでした、「なんとかなる。」と思いました。私は楽道家なんですけどね、いつでも良い方に物事を考えます。若さの秘訣や元気の秘訣はありません、ただいつでも「なんとかなる。」と思っていればいいのです。

♪ 音楽とランタンと ~八田絆コンサート~ ♪

八田小学校講堂で行われた「八田絆コンサート」へ八田特養利用者様3名が参加されました。沢山のランタンにより幻想的な雰囲気の中、とても楽しいひと時をすごしました。当日温かいコーヒーを振る舞って下さったボランティアの皆さん、ご馳走様でした。



八田デイ利用者様が作成したランタンも展示していました



会場中がランタンで照らされとてもキレイでした



子どもからプロ級のグループまで色々な演奏が楽しめました